

政務活動報告書

報告者 田中政司
活動日時 平成27年2月2日～4日
活動先 2月2日 山形県鶴岡市温海庁舎、あつみ温泉
2月3日 山形県酒田市山居町「山居倉庫」・酒田市吉町「相馬楼」
2月4日 東京ドーム テーブルウエア-フェスティバル「喫茶うれしの」
調査内容 ① あつみ温泉のまちづくりについて
② 酒田市の観光施設の視察
③ 「喫茶うれしの」の視察
参加者 田中政司、大島恒典、辻 浩一、川内聖二

活動理由

全国的に温泉観光地は、バブル経済の衰退や旅行形態の変化により、観光客数が年々減少し宿泊施設や商店街の店舗数がピーク時の半数以下になっているのが現状である、そこで山形県鶴岡市のあつみ温泉が取り組んだ温泉地区再生への取り組みについて研究し、これからの嬉野市の街づくりに参考とするため視察した。

また、東京ドームのイベントにおいて嬉野市より参加されている「喫茶うれしの」を視察し、これからの「うれしの茶」「吉田焼」「嬉野温泉」のPR方法や消費拡大に向けた取り組みについて参考とするため。

視察内容

① 山形県鶴岡市あつみ温泉

平成27年2月2日（第1日目） 14:30～17:00

あつみ温泉のまちづくりについて ～歩いて楽しい温泉街を目指して～

開 会	観光商工主査	伊藤 隆 氏
来賓挨拶	温海庁舎市長	鈴木 金右エ門 氏
視察対応	産業化主幹	佐藤 光治 氏
	建設事務室長補佐	剣持 一善 氏
	議会事務局専門員	桜井 寿美 氏

鶴岡市の担当課職員より以下の内容について説明を受けた

「位置関係」

人口約14万人の鶴岡市は、山形県の南西に位置し、平成10年に1市4町1村合併し面積約1,300 km²で東北一の広さを有し、この鶴岡市の地域の一つが温海地区で人口が、約

9,600人の旧温海町である。

平成2年のピーク時には、観光客が約35万人で平成7年には、「にっぽんの温泉100選」で第4位になったあつみ温泉だが、バブル経済等の衰退等で観光客数は年々減少し、このままではと地元の関係者は危機感を抱き始めた。

「温泉客の減少と一つの転機」

平成12年に当時、山形県の観光アドバイザーだった東京大学教授の堀 繁氏を講師に招き、「湯のまち景観整備講演会」を開催した。そこで堀教授から、あつみ温泉は魅力がないと厳しい指摘をされ、あつみ温泉街の衰退は、街の魅力をつくってこなかったことが最大の原因であるとの指摘を受け「あつみ温泉魅力づくり推進委員会」を組織し観光団体や行政とともに街づくりに参画した。推進委員会は、「歩いて楽しい温泉街」を目標とし官民一体となった街づくりを展開していった。

「湯のまちのリフレッシュ事業」

平成12年から基本構想、平成14年に湯のまちのリフレッシュ事業とし工事を行い、基本コンセプトに温泉情緒の演出・ホスピタリティ表現(人優先のみちづくり)をするようにした。事業概要は、歩道の段差の解消・道路中央部に足湯、ベンチ、植栽の設置・橋の欄干は透過性に配慮する工事である。

「あつみ温泉活性化施設整備事業」

あつみ温泉活性化施設整備事業とし廃民間保養所をリニューアルし街歩きの拠点にした。施設の目的として、街の情報発信地とし訪れた人に楽しめる場所を提供し、その様子を通り全体ににじみ出させ賑わいを創出するようにしている。施設には、地元の名産品の販売や足湯カフェを設けている。この施設(購入改装費含め7,000万円)は最終的に、民間のみちづくりチームに無償で行政より譲り渡したそうだ。よって制約に縛られず商品の販売等施設をフルに活かし運営している。

「やすらぎの川整備事業」

県の事業で、やすらぎの川整備事業とし護岸整備にいちづけ6箇所の施設の整備工事を施工し各施設には、次のような愛称をつけて観光客に利用していただき、街のイベントにも利用されている。

①「ざっこ見の腰掛け」ベンチ ②「かじかの下り口」かじか川への昇降階段 ③「もっけい湯」足湯 ④「湯涼みの腰掛け」ベンチ ⑤「竿かけのテラス」昇降階段かねてのベンチ ⑥「映し見の腰掛け」ベンチ、施設のほとんどは、街歩きが基本なので休憩所として利用できるように造ってある。

「くらしのみちゾーン整備事業」

道路改良は、くらしのみちゾーン整備事業で平成15年に国道交通省の歩行者、自転車の

優先施策に取り組む事業に応募し全国 42 地区の 1 つとして登録してある。スーパーモデル地区の応募もあり平成 17 年 3 月に指定を受けた。それまで要望していた無電柱化の案も相手にされてなかったが、スーパーモデル地区に指定を受け、電線管理者の東北電力と NTT と協議し合意するまで 1 年掛かりで国と県の補助を受け電線管理者に施工していただいた。

もう 1 つは、今まで対面通行の道路の一方通行化である。これに関しては、地元の旅館等より反対の声があがったが、このままでは生き残れない、ということで了解をいただき整備を行った。

「民間、地元住民の変化」

公共事業でハード整備をおこなった影響で地元住民が変わった。新しく整備した道路の清掃や商工会中心で、地元の方々が道路を通行止めにしてイベントをたくさん取り組むようになった。

また、既存の商店を増築し出店を増やしたり空き店舗を再生し、お土産屋を出店したり人力車を走らせお客様の集客に取り組んだ。最後に、まだまだ見て楽しい店を造ることは道半ばであると言われた。以上があつみ温泉のこれまでの街づくりの経緯である。

<視察しての感想及び意見>

今回、山形県鶴岡市のあつみ温泉を視察し、まず感じたのは通常では温泉地が冬場の観光客中心であるのに対し、東北の温泉地が冬場ではなく春先から夏場そして秋の紅葉までが繁忙期であり、冬場の雪深い時期はほとんどの商店が開店休業状態であることに驚いた。

そのような状況の中、まちの賑わいを取り戻すため民間の有識者（東京大学教授の堀 繁氏）のアドバイスを受けながら、あつみ温泉魅力づくり推進委員会を立ち上げられ、官民一体となった街づくりに取り組まれた姿勢は、本市においてもぜひとも参考にしなければならず、統一した方向性の中でハード事業を先行させることにより、市民の街づくりに対する意識の変化も期待できるものと確信した。

② 山形県酒田市

山居倉庫 ～自然を利用した低温管理倉庫～

平成 27 年 2 月 3 日（第 2 日目） 9：30～10：00

明治 26 年に酒田米穀取引所の倉庫とし旧庄内藩酒井家により建造され、明治 30 年まで 14 棟建てられ酒田家が管理、運営を行った。倉庫の造りは土蔵造りで建物の基礎下には軟弱地盤対策とし杭木を打込み地盤対策を行っている。これにより明治 27 年の庄内地震（マグニチュード 7.0）耐え損害は僅かなものであった。

また、建物は屋根を二重構造とし断熱効果を考慮し湿気対策とし土間にはがりを混ぜた土で固められ土間全体に温度と湿度を一定に保つように塩を敷き均してある。外工は暴風対策とし冬季の厳しい季節風から倉庫守るため、けや木を配置してある。

しかし、昭和 14 年に取引所は、米穀配給統制法により廃止されたがその後、全国農業組

合連合会庄内本部とし現在まで運用されている。

相馬樓 ～蘇る。華やぎと雅の新世界～

平成 27 年 2 月 3 日 11:00～12:00

江戸時代より料亭「相馬屋」として賑わっていた建物で、現在残る木造の主屋は、明治 27 年の庄内大震災の大火で焼失した直後、残った土蔵を取り囲んで建てられたもので、平成 8 年 11 月、国の登録文化財建造物に指定されている。

伝統に新しい息吹を加えて修復した相馬樓は、1 階の 20 畳部屋を「茶房くつろぎ処」とし、2 階の大広間は舞娘さんの踊りとお食事を楽しむ演舞場に、かつての厨房は相馬樓酒田舞娘のけいこ場となっている。

また、樓内の土蔵には雛人形や樓主・新田嘉一所有の書画や古美術等を展示しており、我々が視察した時には「竹久夢二美術館」が開館されていた。

<視察しての感想及び意見>

山居倉庫、相馬樓ともに飛び込みでの視察で山居倉庫については、現在も営業されており倉庫内部の視察は残念ながらできなかった。

相馬樓については、国の登録文化財建造物に指定されており、それを有効に利用された観光施設であるが、建物だけでなく芸妓の舞を文化（雅）の伝承としてとらえ職業として一般女性を採用し、その踊りの練習風景などを観光客が見学できるようになっている。

嬉野市においても温泉芸妓の文化がまだ残っており、今後はこの芸妓文化を市のひとつの財産としてとらえ、どのようにして残すかを行政としても考えなければならない時代と考える。

③ 東京ドーム

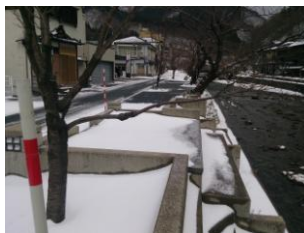
テーブルウェアフェスティバル ～暮らしを彩る器展～

平成 27 年 2 月 4 日 11:00～12:00

2 月 1 日から 2 月 9 日まで、東京ドームシティで「テーブルウェア・フェスティバル 2015 ～暮らしを彩る器展～」が開催され、毎年 25 万人以上の来場者が訪れ、暮らしを彩る器や感性豊かな食空間を紹介する大好評のこのイベントに今年も「喫茶うれしの」が実行委員会を立ち上げられ参加されるとの事で視察した。

<視察しての感想及び意見>

以前参加させていただいたが、その時よりもさらにパワーアップされているような感じを受けた。「喫茶うれしの」は、市内や波佐見、有田などの民間企業が実行委員会を組織され出店されている。行政としては今後の新幹線開通や格安航空の運航などを踏まえ、温泉湯豆腐などを中心に観光客誘致に向けた取り組みが此処（東京ドーム）で可能かどうか検討することはやぶさかではないと感じた。



山形県鶴岡市

あつみ温泉



酒田市 山居倉庫



酒田市 相馬楼



東京ドーム

「喫茶うれしの」